

ベトナムにおける中学校美術教育内容について

—教科書による教材を中心に—

福田 隆眞・ウォン・ティ・ビック・リエン*・佐々木 宰**

On Secondary School Art Education in Vietnam
-A case study of learning materials in art textbooks-

FUKUDA Takamasa, Vuong Thi Bich Lien*, SASAKI Tsukasa**

(Received January 8, 2013)

キーワード：ベトナム、中学校、美術教育、教科書、教材

はじめに

本研究はアジアの美術教育の文脈研究の一部であり（注1）、ベトナムにおける実態調査の前に、教育課程、教科書の事前調査の一端である。本稿ではベトナムの美術教育における中学校（前期中等教育）の教科書を中心にその内容を述べる。

ベトナムの教育制度は、初等中等教育として1981年以降、初等教育（小学校）5年、前期中等教育（中学校）4年、後期中等教育（高等学校）3年となっている（注2）。そして、普通教育に求められる内容としては、「小学校教育では、自然や社会や人間について、生徒が必要最小限の知識を習得することを保障しなければならない。また、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと、計算についての基礎的技能、身体を鍛錬する習慣、衛生的習慣、歌、踊り、音楽、美術についての基本的知識について、生徒が習得することを保障しなければならない。中学校教育は、小学校の履修内容を強化し、発展させなければならない。また、生徒のベトナム語や数学、ベトナム民族の歴史に関する一般的かつ基本的認識、その他、社会科学や自然科学、法律、情報、外国語などの知識、技術や職業的志向に関する必要最小限の認識を生徒が習得することを保障しなければならない。」（注3）としている。具体的に中学校での教科は、ベトナム語、数学、理科、社会、情報、英語、美術、音楽、体育、技術が実施されている。

初等教育においては基礎的な学力を保障し、中等教育においては社会や民族、歴史を踏まえて教養教育だけでなく職業的志向をも含んでいる。こうした観点から、以下に2011年から2012年にかけて調整された中学校4年間の美術教育教材について具体的に教科書に基づいて述べる（注4）。

1. 美術教育課程の調整

2011年から2012年にかけて、ベトナム教育訓練省は美術教育の教育課程を調整し、具体的には以下のよう
に方向が示された。

1-1 調整の目的

現在まで美術教育のカリキュラム及び教科書を扱っている過程において、科目の目標を達成した点と不適切な点が在しているため、カリキュラムと教科書を評価し、調整する必要が出てきた。それは、各課の内容、知識的課題と実践的課題のバランス、審美教育という目標の達成を目指す学習活動の実施などに関するものである。

*山口大学大学院東アジア研究科、ベトナム、タンロン大学 **北海道教育大学

今回の調整は、教員が授業を準備したり学習活動を実施したりするために、主体的にまた柔軟に行えるようにすることを目的としている。また、生徒が学習活動に参加する機会や教科への興味を持ちながら、問題を主体的に解決することができるように、全体的時間、教育内容、それぞれの各課の時間割を調整することを中心としている。具体的な課題と美術教育課程の目的は、生徒が純粋に審美観や志向を育成し、基本的な造形の技能を習得し、生活に美術の知識を使用することができることである。

1-2 内容実施の指導

中学校での学習指導や生徒の成績を評価したりする際、教員は美術教育課程に示されている標準的な技能や知識に基づいて行う必要がある。

教員は教具の使用に柔軟でなければならない。また、中学校における美術教育のカリキュラムに定められている知識・技能の目標を達成するために、教科書に掲載されている参考作品を、地方の自然・文化の特徴や生徒の特徴に相応しい作品に代えることができる。

具体的状況や条件によって、「テーマによる絵を描く」、「模様を飾る」、「見本を観察して描く」などのパターンを通じて、教師は基本的知識を導入する。そうすると、生徒は体験の機会が与えられ、その知識を深く理解できる。

「テーマによる絵を描く」「模様を飾る」「見本を観察して描く」というパターンにおいては、教科書に掲載されている幾つかのテーマを削って、その代わりに、他のテーマを完成するのに実践時間を増やすことができる。または、各学年で内容が重なっている幾つかの実践的課題を削って、そのかわりに、生徒の認知能力や実践技能を高めることを目指す学習活動に時間を増やすことができる。

教員は学習活動の計画を作る際、生徒に高い描画技術を要求したり、知識を無理やり憶えさせたりすることを重視しないで、審美教育の標準を達成するように注意する必要がある。「美術の日常知識」というパターンにおいては、標準的な技能・知識の標準を徹底することであり、内容を増やしたり、複雑にしたりすることはしない。4年生のカリキュラムに載っている「近代におけるベトナムの美術史」という内容を削ることもできる。

教科書に載っている図や写真は、必ずしも使用する必要はなく、参考として使用することができる。

教員は生徒の学習結果を評価する際、指導や試験の圧力を避けるために、色々な方法を使用することができる。指導過程においても評価においても、審美価値についての正しい観点を持って、美を愛好し、美の創造能力が出来、自分の生活にも社会全体にも美を生かすことができるように、生徒に知識を備えさせることを目指すことである。

2. 中学校1年生（第6学年）の教材

2-1 見本を観察して描くパターン（「見本描画」と略）

- ◆ 教員は、生徒が見本を観察して描く絵についての概念を理解し、パターンによって描くことができるように説明し指導する技能的知識の要求をしっかりと確認する必要がある。いわば、生徒が絵を描く際、色の濃淡や見本作品の遠近を見分けることができるような目標を達成することである。
- ◆ 教員は3課と4課を柔軟に変えることができる。
- ◆ 教科書に掲載されている参考作品は、同様の作品と代えてもよい。また、同様の図形が描いてある作品も使うことができる。但し、技能・知識の標準に基づくことが必要である。

2-2 模様を飾るパターン（「模様」と略）

- ◆ 11課では、教員は多様な教具を用意する必要がある。
23課・26課では、教員は文字の描き方だけを重視せず、文字の配置や装飾画に相応しい文字のスタイルの選び方を重視する必要がある。

2-3 テーマによる絵を描くパターン（「テーマ描画」と略）

- ◆ 5課の「勉強」という具体的テーマの実践課題を指導する際、テーマ絵の描き方についての知識を差し挟む。つまり、「勉強」というテーマの実践時間は、5課と9課の時間を合わせて2コマになる。

- ◆ 17課を削って、13課の「軍人」というテーマで描く時間を2コマに増やす。
- ◆ 30課を削って、22課の「元旦と春」というテーマで描く時間を2コマに増やす。
- ◆ 25課は30課の代わりに実施する。

2-4 中学校1年生用美術教育の内容・時間（調整後の部）

課	パターン	内容	注意
1	模様	民族の伝統的な紋様を見て描く（図1）	
2	美術の常識	ベトナムの古代的美術史についての概要	
3	見本描画	背景配置の概要	
4	見本描画	平行六面体と球体をした物を観察させ、それを通じて、見本物による絵描き方について、説明する（1次コマ）	「平行六面体と球体をした見本」という、具体的な実践課題を通じて、見本物の描きの知識を提供する
5	見本描画	平行六面体と球体をした見本物を観察しながら描く（2次コマ）	
6	テーマ描画	絵の描き方について説明する テーマ「勉強」（1次コマ）	テーマによる描画の知識を提供する
7	テーマ描画	テーマ「勉強」（2次コマ）	
8	模様	装飾における画面構成の作り方について説明	
9	美術の常識	李朝時代（1010-1225）における美術史についての概要	
10	美術の常識	李朝時代の代表的美術作品を紹介	
11	模様	色について説明	
12	模様	装飾における色の使い方（図2）	
13	テーマ描画	テーマ「軍人」（1次コマ）	
14	テーマ描画	テーマ「軍人」（2次コマ）	
15	模様	線（縞）に飾る	
16	見本描画	円柱体と球体（1次コマ）（図3）	
17	見本描画	円柱体と球体（2次コマ）	
18	模様	正方形に飾る	
19	美術の常識	ベトナムの伝統的な絵の概要	
20	美術の常識	ベトナムの伝統的な絵を紹介（図4）	
21	見本描画	二つの見本（1次コマ）	
22	見本描画	二つの見本（2次コマ）	
23	テーマ描画	テーマ「元旦と春」（1次コマ）	
24	テーマ描画	テーマ「元旦と春」（2次コマ）	
25	模様	大文字を同じ線で描く	
26	模様	大文字を細い線と太い線で描く	
27	テーマ描画	テーマ「母」	
28	見本描画	二つの見本（1次コマ）	
29	見本描画	二つの見本（2次コマ）	
30	美術の常識	世界の古代美術の概要	
31	美術の常識	エジプト、ギリシャ、イタリアにおける代表的古代作品を紹介	
32	模様	花瓶の下に敷く物に飾る	
33	テーマ描画	テーマ「故郷」	
34	テーマ描画	テーマ「故郷」	
35		生徒の作品を学習結果として展示する	

3. 中学校2年生（第7学年）の教材

3-1 見本描画

- ◆ スケジュール変更（課の順番を変える）：23課と24課→6課と7課；6課と7課→11課と12課；
11課と12課→23課と24課
- ◆ 11課では、見本の花瓶と果物の色を塗らずに形のみ描く。色塗りは12課で指導する。
- ◆ 11課と12課の見本は花瓶と果物である。
- ◆ 教員は生徒が描いている際、描画の段階をゆっくりと指導することができる。
- ◆ スケッチ絵は技能・知識の標準を基づいて実施される。指導の際、教員は実践課題に知識を挟むことができる。生徒の見方や能力に相応しいスケッチ画の例を用意しておかなければならない。教科書に載っている絵は参考のみに使われている。
- ◆ 教科書の見本のような形をしている地方の実物を使う。

3-2 テーマ描画

- ◆ 27課を削って、その時間を4課の「風景」というテーマの実施に増やす。
- ◆ 20課を削って、その時間を10課の「生活」というテーマの実施に増やす。
- ◆ 31課を削って、その時間を29課の「交通安全」というテーマの実施に増やす。
- ◆ 25課は、テーマを自由に描くことになる。
- ◆ 33課と34課のテーマは「伝統的な遊び」である。

3-3 中学校2年生用美術教育の内容・時間（調整後の部）

課	パターン	内容	注意
1	美術の常識	陳朝時代(1226-1400)における美術の概要（図5）	
2	美術の常識	陳朝時代の代表的作品を紹介	
3	見本描画	コップと果物を描く	
4	模様	装飾の図柄を作る（図6）	
5	テーマ描画	風景画(1次コマ)	
6	テーマ描画	風景画(2次コマ)	
7	模様	花瓶の姿形を作り、飾る。	
8	見本描画	花瓶と果物を描く(1次コマ)（図7）	彩色の静物画を描く
9	見本描画	花瓶と果物を描く(2次コマ)	彩色の静物画を描く
10	模様	長方形の物に飾る	
11	テーマ描画	テーマ「日常生活」(1次コマ)	
12	テーマ描画	テーマ「日常生活」(2次コマ)	
13	見本描画	花瓶、花と果物を描く(1次コマ)	
14	見本描画	花瓶、花と果物を描く(2次コマ)	
15	模様	装飾用文字を描く	
16	テーマ描画	テーマを自由に選ぶ	
17	テーマ描画	テーマを自由に選ぶ	
18	模様	壁掛けカレンダーに飾る	
19	見本描画	スケッチ絵(写生画)	
20	見本描画	戸外(野外)で描くスケッチ絵	
21	美術の常識	19世紀末～1954におけるベトナムの美術について	
22	美術の常識	19世紀末～1954におけるベトナムの代表的美術作品を紹介（図8）	
23	模様	丸皿に飾る	
24	見本描画	茶瓶と器を描く(1次コマ)	

25	見本描画	茶瓶と器を描く(2次コマ)	
26	美術の常識	文芸復興期におけるイタリアの美術の概要	
27	美術の常識	文芸復興期におけるイタリアの代表的な美術作品を紹介する	
28	模様	壁新聞の標題に飾る	
29	テーマ描画	テーマ「交通安全」(1次コマ)	
30	テーマ描画	テーマ「交通安全」(2次コマ)	
31	模様	自由に描く	
32	テーマ描画	テーマ「伝統的な遊び」(1次コマ)	
33	テーマ描画	テーマ「伝統的な遊び」(1次コマ)	
34	テーマ描画	テーマ「夏休み」	
35	生徒の作品を学習結果として展示する		

4. 中学校3年生(第8学年)の教材

4-1 見本描画

- ◆ 7課と8課は2コマで彩色の静物画を描く。教員は教科書の見本と同様のものを使うことができる。
- ◆ 13課は、18課と19課と合わせて指導する。13課の時間は12課の「家族」というテーマの実施に使われている。
- ◆ 18課と19課は2コマで姿絵を描く。
- ◆ 30課と31課は花瓶と果物の静物画で、記憶と創造力を生かすことを狙う。

4-2 模様

- ◆ 32課を削って、11課の「本の表紙に飾る」という内容で、2コマで実施する。
- ◆ 22課と23課では、宣伝の絵を描く。実践作品を求めるには、教員は、生徒の個人かグループが絵を描くように勧めたり集めた宣伝の絵を集め、紹介したりさせて柔軟に指導することができる。

4-3 テーマ描画

- ◆ 3課と9課を合わせて、「先生の日(11月20日)」というテーマで描く。
- ◆ 12課と16課を合わせて、「家族」というテーマで描く。
- ◆ 17課と21課を合わせて、「夢」というテーマで描く。
- ◆ 24課と28課を合わせて、昔話の絵を描く。

4-4 中学校3年生用美術教育の内容・時間(調整後の部)

課	パターン	内容	注意
1	模様	紙の扇子を模様で飾る	
2	美術の常識	黎朝時代(15世紀～18初世紀)における美術の概要	
3	美術の常識	黎朝時代(15世紀～18初世紀)における代表的な美術作品を紹介する	
4	模様	植木盆の姿形を作り、飾る(図9)	
5	模様飾り	バナースローガンに飾る	
6	見本描画	花瓶と果物を描く(1次コマ)	彩色の静物画を描く
7	見本描画	花瓶と果物を描く(2次コマ)	彩色の静物画を描く
8	テーマ描画	テーマ「先生の日(11月20日)」(図10)	
9	テーマ描画	テーマ「先生の日(11月20日)」	
10	美術の常識	1954～1975におけるベトナムの美術の概要	
11	美術の常識	1954～1975におけるベトナムの代表的な美術作品及び画家を紹介する(図11)	

12	模様	本の表紙に飾る	
13	模様	本の表紙に飾る	
14	テーマ描画	テーマ「家族」(1次コマ)	
15	テーマ描画	テーマ「家族」(2次コマ)	
16	見本描画	人の顔のプロポーションについて説明する。	
17	模様	姿形作り・仮面に飾る	
18	テーマ描画	テーマ「夢」(1次コマ)	
19	テーマ描画	テーマ「夢」(2次コマ)	
20	見本描画	姿絵を描く	
21	見本描画	姿絵を描く	
22	美術の常識	19世紀末～20初世紀における西洋の近代美術の概要	
23	美術の常識	印象派における代表的な美術作品及び画家を紹介する。	
24	模様	宣伝の絵を描く(1次コマ)	
25	模様	宣伝の絵を描く(2次コマ)	
26	模様	テントに飾る	
27	見本描画	人の身体の割合について説明する	
28	見本描画	人の姿を描く	
29	見本描画	昔話の絵を描く(1次コマ)	
30	見本描画	昔話の絵を描く(2次コマ)	
31	見本描画	花瓶と果物の静物画	
32	見本描画	花瓶と果物の静物画	
33	テーマ描画	テーマを自由に選ぶ	
34	テーマ描画	テーマを自由に選ぶ	
35	学生の作品を学習結果として展示する		

5. 中学校4年生（第9学年）

5-1 見本の物を観察して描くパターン

- ◆ 2課と3課は、2コマで実施する。見本は、花瓶と果物であることはない。状況条件によって相応しい見本を選ぶことができる。但し、技能・知識の標準に基づくことである。
- ◆ 7課と8課を削る。7課の時間は9課と合わせて2コマになって、絵や写真の拡大を実践するのに使われる。8課の時間は10課と合わせて2コマになって、「お祭り」というテーマで描くに使われる。

5-2 模様を飾るパターン

- ◆ 7課の時間は写真拡大を実践するのに使われる。
- ◆ 11課の実践課題は、教室や学校で行うクラブのミティング、談話会、交流会、パフォーマンス、スポーツの試合などのバックグラウンド（背景）に飾るという要求であり、この課題を完成するには、学生が個人で描くかグループと共に描くことができる。
- ◆ 17課を削って、15課のファッションにおける姿形作り、飾るというパターンを2コマで実施する。

5-3 テーマによる絵を描くパターン

- ◆ 5課と14課の時間を合わせて、「故郷の景色」というテーマで2コマで描く。

5-4 中学校4年生用美術教育の内容・時間（調整後の部）

課	パターン	内容	注意
1	美術の常識	阮朝時代(1802～1945)における美術の概要	
2	見本描画	静物画を描く(1次コマ)	色で描く
3	見本描画	静物画を描く(2次コマ)	色で描く
4	模様	ハンドバッグの形作り、飾る(図13)	
5	テーマ描画	テーマ「ふるさとの景色」(図14)	
6	テーマ描画	テーマ「ふるさとの景色」	
7	美術の常識	ベトナムの伝統的な文化会館や神社の彫刻模様について	
8	模様飾	絵・写真拡大の技術(1次コマ)	
9	模様飾	絵・写真拡大の技術(2次コマ)	
10	テーマ描画	テーマ「お祭り」(1次コマ)(図15)	
11	テーマ描画	テーマ「お祭り」(2次コマ)	
12	模様	会場に飾る	
13	美術の常識	ベトナムにおける少数民族の美術についての概要	
14	見本描画	人の姿を描く	
15	模様	ファッションにおける姿形を作り、飾る(1次コマ)(図16)	
16	模様	ファッションにおける姿形作り、飾る。(1次コマ)	
17	美術の常識	アジアの美術についての概要	
18	テーマ絵描き	テーマを自由に選ぶ	

6. 教材の特徴

ベトナムの美術教科書は国立ベトナム出版が発行しており、いわば国定教科書である。美術教育の内容は、「音楽と美術」という教科書に音楽と美術の両方の内容が分かれて記載してある。合科ではなく、教科書が物理的に一冊になっている。

教材の特徴としては以下のようなことがあげられる。

(1) 伝統的教材と現代的教材の混在

伝統的な教材としてはベトナムの伝統的絵画、工芸、彫刻、建築、服飾、模様などが取り上げられている。現代的な教材としては、レタリングなどの簡単なデザイン、西洋画の技法を取り入れた絵画などがある。西洋美術史の作品も近代化された教材といえる。

(2) 生活にかかわる絵画

生徒の絵画作品やベトナムの近現代の絵画作品が教材として取り上げられている。それらは生活に根差した作品が主である。

(3) 美術史教材

各学年ともベトナム美術史の教材が比較的多く含まれている。工芸、建築、絵画、彫刻などが紹介されており、知的な習得による学習が勧められている。

教育方法としては知的な学習が多く、表現活動はまだ少ない状況にある。知識の系統的な習得が多いと言える。

注

- 1 本研究は平成24年度科学研究費補助金による基盤研究(C)「アジアにおける美術教育の文脈研究」(福田隆眞研究代表、課題番号:24531135)の一部である。
- 2 文部科学省:「諸外国の学校教育制度<アジア・オセアニア・アフリカ編>」,1998.
- 3 ヴォ・ヴァン・セン監修、近田政博訳、「ベトナム教育法(翻訳)」,名古屋高等教育研究,第1号,2001.

4 使用した中等教育前期の美術教科書は以下である。

- Bo Giao Duc Va Dao Tao, *Am Nhạc Va Mi Thuat 6*, Nha Xuat Ban Giao Duc Viet Nam, 2011 (教育訓練省、「音楽と美術6」、国立ベトナム教育出版)
- Bo Giao Duc Va Dao Tao, *Am Nhạc Va Mi Thuat 7*, Nha Xuat Ban Giao Duc Viet Nam, 2011
- Bo Giao Duc Va Dao Tao, *Am Nhạc Va Mi Thuat 8*, Nha Xuat Ban Giao Duc Viet Nam, 2011
- Bo Giao Duc Va Dao Tao, *Am Nhạc Va Mi Thuat 9*, Nha Xuat Ban Giao Duc Viet Nam, 2011

参考文献

西谷泉：「ベトナムの小学校教育の現状について」（『群馬大学教育学部紀要 自然科学編』第56巻収録）、2008.

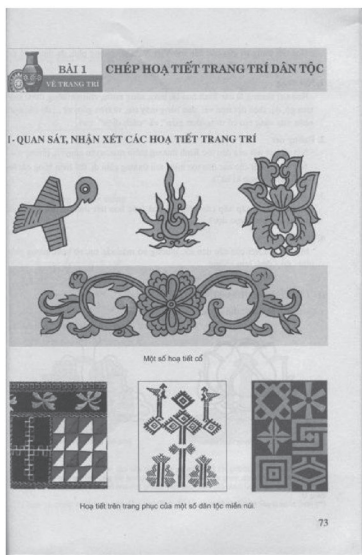


図1 伝統的模様 (中1)

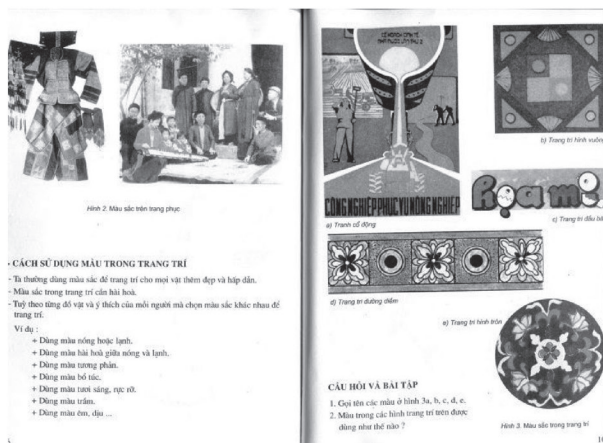


図2 装飾における色 (中1)

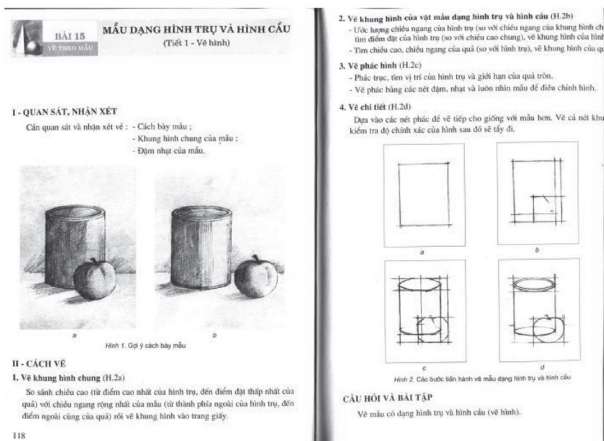


図3 円柱と球体 (中1)

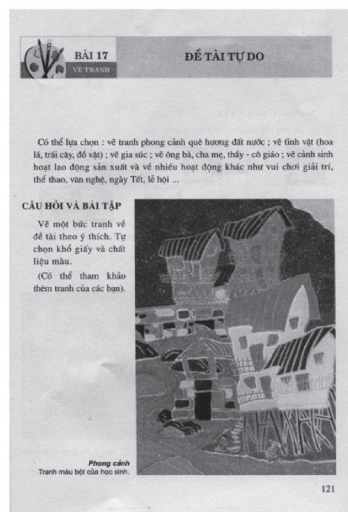


図4 伝統的絵画 (中1)

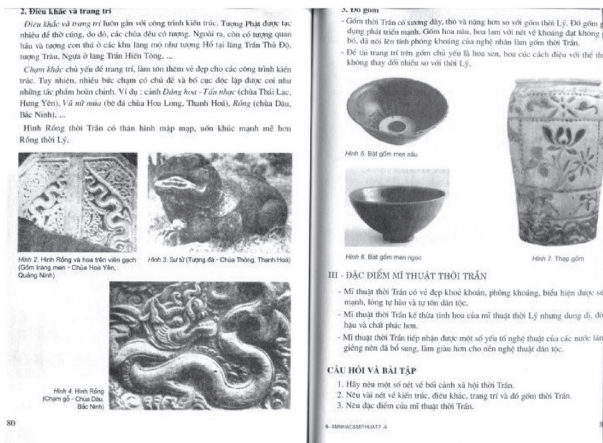


圖5 陳朝時代の美術 (中2)

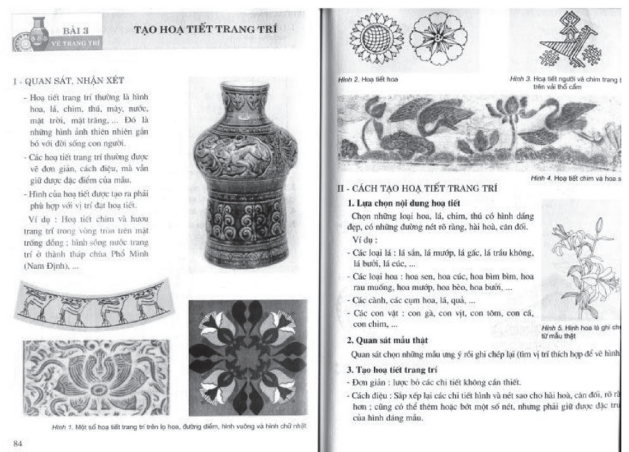


圖6 模様の制作 (中2)

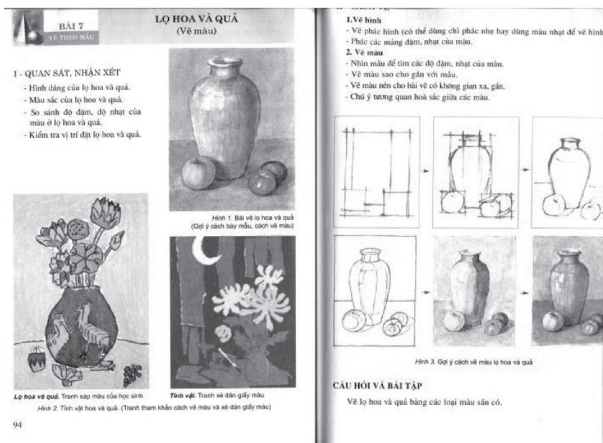


圖7 花瓶と果物 (中2)

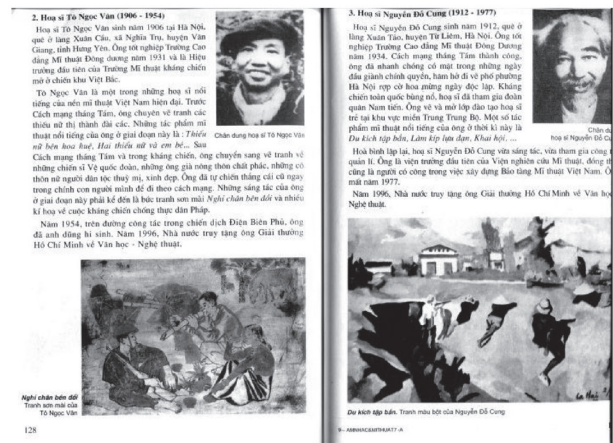


圖8 ベトナム美術

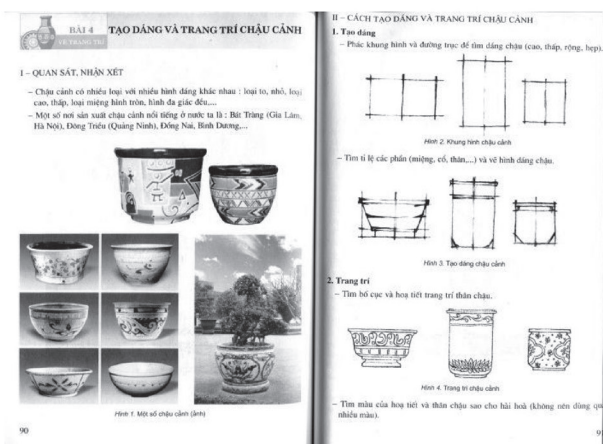


圖9 植木盆 (中3)

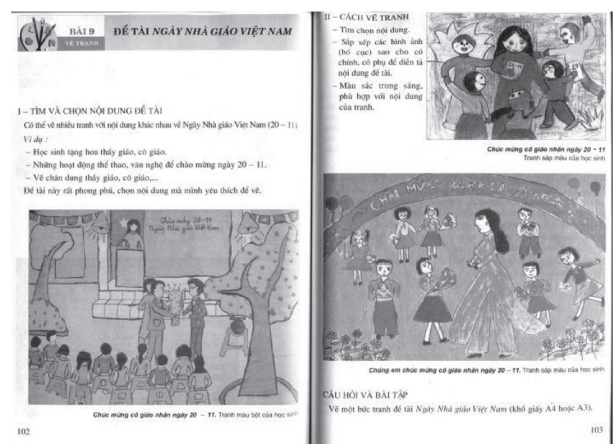


圖10 先生の日 (中3)

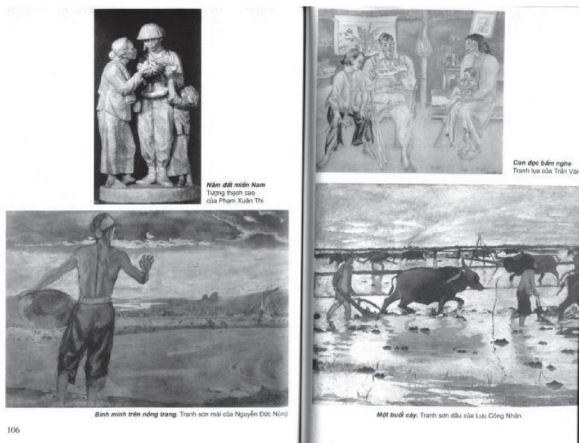


図11 ベトナム絵画 (中3)

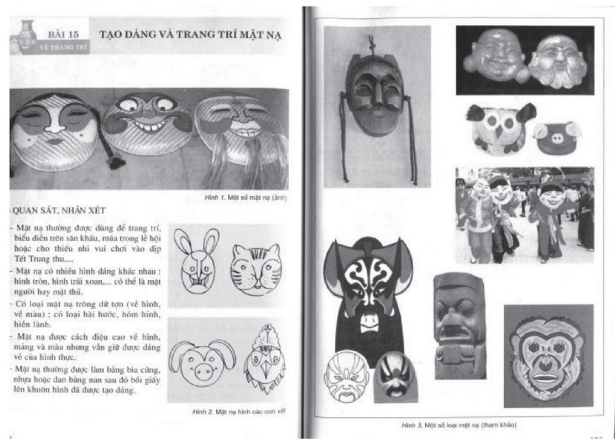


図12 仮面 (中3)

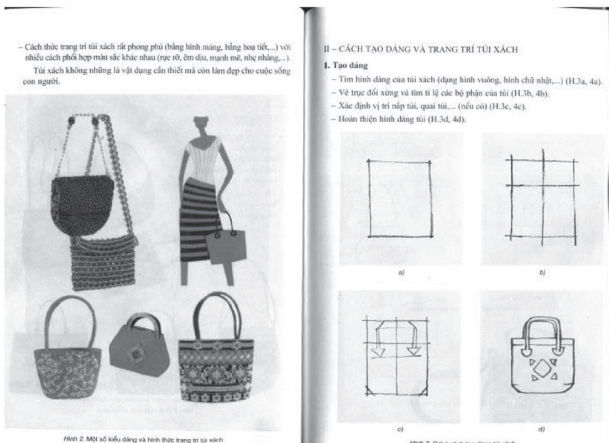


図13 ハンドバッグ (中4)

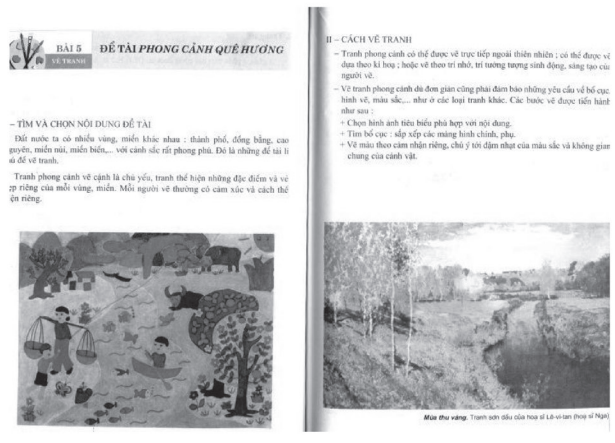


図14 ふるさとの景色 (中4)



図15 お祭り (中4)

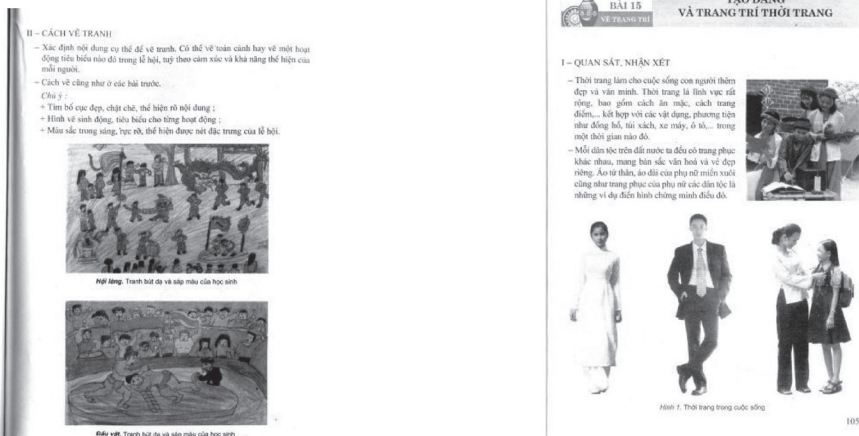


図16 ファッション (中4)